

2024年 APCA「子ども虐待」実践講座 受講者アンケート 感想

50 歳代/教職員/愛知県

トラウマインフォームドケアを非常にわかりやすく説明していただけて、良い勉強になりました。後半にグループワークをしたことで、より体験的に理解出来ました。

60 歳以上/心理士/兵庫県

TIC について分かりやすく教えていただけてよかったです

40 歳代/施設職員/千葉県

TIC のことがよくわかりました。全員がもっている必要のある知識で 1 人だけしか知らないというのが、確かにその通りだと思いました。職場にもってかえり、伝達したいと思います。セルフコンパッションのワークも実践してみようと思いました。手軽さが良いと思いました。

昨年に続き 2 回目の参加でした。今回はグループワークもあり、同じ研修を受けている人と交流できる場を持てていい経験になりました。3E のアセスメントでそれぞれの E の整理することが難しかったです。出来事と影響が混同しがちで、それゆえに影響そのものの出来事だと捉えてしまい、影響に目を向けて関わるインフォームドケアの実践を誤ってしまう恐れがあるように思います。

20 歳代/医療ソーシャルワーカー/大阪府

私の現場は急性期病院です。虐待対応は児相などの関係機関との連携が多く直接被虐待児へのケアをすることはありません。しかし、講義中に、トラウマを受けた人はどの窓口にも来られるとあり、被虐待児に関わらず、トラウマを抱えている人だったらメガネをかけて対象者と関わることは重要だと思います。出来事は変えられないし周囲から心無い対応をされることもあるかもしれませんが主観的体験に肯定的な要素を持てるような関りについても考えていきたいです。ありがとうございました。

60 歳以上/保育士/大阪府

トラウマインフォームドケアについて初めて学べてよかったです。あらゆる人が対象のトラウマの基本的??と講座の内容にあったので参加させていただきました。様々な状況の中で、「トラウマのメガネ」や 3E を活かせると思いました。グループワークもとても良かったです。レジリエンスを高める具体的方法を実感できました。少しでも出来る事をする事で互いに前向きになれるのもよかったです。ありがとうございました。

40 歳代/相談員/大阪府

TIC について基礎的なことからご講義いただき大変学びになりました。自分の組織だけでなく対人援助の職に就く人全員と TIC の考えを共有できればより良い支援ができるようになるのでは…と思いましたし、そうなって欲しいと思います。

60 歳以上/心理士/兵庫県

SC の現場で見られる、トラウマによる行動化が激しい子ども等の理解をさらに深められました。現場の先生方にこの TIC の考えと理解をすすめていきたいと思いました。チーム学校で対応することの重要性も改めて考えました。

60 歳以上/看護師/大阪府

トラウマインフォームドケアについての意見と内容について再確認に学んだ

60 歳以上/相談員/大阪府

3E で「影響」に注目してしまっている自分に気付きました。主観的体験ともっと考えたいと思いました。対応しているケースでグラウンディングを使ってみたいと思いました。

50 歳代/保健師/大阪府

3E でアセスメントの考え方

TIC 現場に持ち帰って活かしたいと思いました。

30 歳代/施設職員/京都府

トラウマインフォームドケアは誰もが取り組めることやできることから少しずつ取り組めばいいことを学びました。話を聞くにあたって、過去の出来事に注目して聞かなければならないのではなく今の事に目を向けることが大切だとわかりました。ワークでは褒める（認める）と気持ちが前向きになる体験もさせていただきました。職場でも何かの折にやってみたいと思えました。3E のワークも活用していきたいです。ありがとうございました。

40 歳代/保健師/大阪府

トラウマについて支援する中で様々な経験をされている方と接していつもどう対応していけばいいか悩んでいました。今回先生のお話を聞いて“できることからしていこう”と思えることが出来ました。時間がもっと聞いていたかったので満足とさせていただきます。

20 歳代/児童心理司/兵庫県

リラクセーションを実施してもいまいち手ごたえがないのは自分のやり方がマズいのではないとか、理解が不十分だからとか思っていることにまず気づき、“変化を急がないと”と

という言葉が響きました。また、自身も二次受傷にさらされていることにも目を向けようと思いました。学びとともに安心感も得られる講座でした。

60 歳以上/相談員/大阪府

TIC についてのお話と演習、理解を少し深めることが出来ました。演習で一緒にさせてもらった方々の現場でのお話もリアルでとても参考になり喜ばしい経験でした。ありがとうございました。

40 歳代/子育て支援士/大阪府

トラウマはマイナスなイメージでしたが、本日学ばせていただき、ケアの仕方で、マイナスでなくなることを知りました。自身の幼少期の出来事にもトラウマがあり、今まで研修を受けることに不安を感じていたので、こんなにすっきりした気持ち（前向きな気持ち）になったことに驚いています。支援者として話を聞くことが多く、自身の話や思いを伝える場を与えて頂き感謝いたします。ありがとうございました。

60 歳以上/助産師/奈良県

TIC をどこからすればいいのか…とりあえずきくことから…と求めてきくことをやっています。でも今日の学びで目標は再トラウマの予防なのでまずチーム作りですね。コツコツやっていきます。

60 歳以上/助産師/大阪府

危険な状況への防衛反応を理解することで、対象者の理解を深めることができた。トラウマの意味を理解できた。対象者だけでなく支援する方のケアも大切です。色々な感想が頭の中で渦巻いております。

大阪府助産師会の研修に来ていただきたいです。（野坂先生）

50 歳代/子育て支援士/大阪府

トラウマのメガネでみることを今の現場のスタッフとも共有しながら話し合っって子どもを見ていきたいと思いました。並行プロセス、支援者側にも子どもと同じことが起こってしまうというのが今自分の職場でも起きているなと思いました。良いチームになれるようお互いを知り認め合えるような仲間づくりをしていきたいと思います。3E のアセスメントの方法もとても勉強になりました。もっと勉強してみたいと思いました。ありがとうございました。

40 歳代/行政（本庁）/大阪府

3E は練習がいるなと思いました。職場に帰ってちゃんと説明できるか不安なのでぜひ野坂

先生に講義していただきたいと思いました。先生のお話はすごく分かりやすく、とても受け入れやすかったです。皆にこの考え方が広がればなあと思います。

50 歳代/子育て支援士/大阪府

はじめて講座を聞かせていただきました。とても分かりやすく自分の中にスッと入ってきました。「あーそういうことか」と。公衆衛生的アプローチ、私の周りから広めていきたいと思います。同じチームのスタッフにも理解と共有ができるようにしていきたいと思います。レジリエンスを高めていきます。ありがとうございました。

20 歳代/児童福祉司/京都府

タイムリーに自分が対応している子どもの感情やこれまでのサバイバル経験に圧倒されて「巻き込まれている」「自分が逃避しがっている」ことを感じる1週間だったので、まずは自分の状況が客観的に見られてよかったと感じました。また、逆境体験から起こる悪い影響、マイナスな主観的体験ばかりに目を向けている事に気付きました。「大変だったね」「しんどかったね」という最初の声掛けを「頑張っているね」という声掛けも使っていただけると感じました。